



# 進路だより

令和4年度 第1号

令和4年4月21日(月)  
東京都立羽村特別支援学校

校長 外山 裕介

進路指導部

## 何のために働くか

### 働く人の声1

あなたはなんのために働いていますか？

**働く＝お金をもらうこと。**

仕事にやりがいがないといけないとは思わない。

お金をもらってしたいことができるいまの環境がとても好きです。

(雑貨店 30歳)



### 働く人の声2

あなたはなんのために働いていますか？

**給料をもらって生活していくため。**

彼女ができたら彼女のため、家族ができたら家族のために働きます。

(自動車販売業 20歳本校卒業生)



高等部1年生のB・Cグループの生徒の職業の授業では、「働く意義」について考えます。「何のために働くか」を生徒は家族にインタビューをしたり、教員に聞いたりします。授業では上の2つのスライドのように「働く＝お金のため」「働く＝自分や家族のため」といった考えに出会うわけです。大体の生徒は納得です。これらは間違いなく正解ですよ。

一方で例えばこの文章を書く私は進路指導主任という役割や職業の授業の先生という役割を仕事として行っています。この仕事の目的は生徒たちの「働きたい」「人や世の役に立ちたい」といった気持ちを一緒につくっていくことと思っています。つまり私の仕事は、生徒に学ぶ喜びや成就感を提供できるかどうか大切にあって、その報酬として私は給料をもらうわけです。

生徒たちもまずは「働く意義」を上記の2つのスライドのように認識します。しかし、その後「作業学習」や「インターンシップや現場実習(就業体験)」を通じて、お客様を意識した行動(働く態度)や一緒に働く方々を意識した態度を考え始めるわけです。このときこそたくさん褒めて認めてあげたいところです。(学校の先生からのご家族からも)

「お客様のため」「大切な同僚(仲間)のため」といった気持ちから生まれる行動は振る舞いが少し下手でも何だかグッと伝わりますよね。何かが上手になることはとっても良いことに違いはありません。働くには「スキル(能力)」は無いよりはあった方がよいです。ただ、それよりも働きたいという気持ちとその目的の方が本人にとっても周りの同僚や家族にとっても断然大切なのです。「働きたい」という気持ちを一緒に育てましょうね。

さて、今年度も以下のことをお伝えさせていただきます。

**【社会が変わっても、人としてきっと必要なこと】**

- ①人に愛される経験・承認される経験を通して、自尊感情をたっぷりもてること
- ②やりたいことを経験し、できることが増え、求められることに応じられること

私たちは、社会の在り様が大きく変わっても、人と人が関わることをやめたりすることはないでしょう。そうであれば、家庭や学校で自分の存在やその価値を承認され、人の社会の中で様々なことにチャレンジしていける気持ちを育て、やりたいという気持ちから様々な経験を経て、できることが増え、会社や事業所で求められることに応じられる人として世の中に送り出していくことに変わりありません。このことを、お子さんを間に学校とご家庭で視点を合わせながら進めていくことが、今後も**キャリア教育**としての根幹としてあり続けるのだと思います。本校は大切なお子さんを一人の人として、**ライフキャリアを中心に**成長させていく営みをご家庭と一緒に進めていきたいと思っています。今後ご協力のほどお願い申し上げます。

最後に、進路指導の観点から次の2つをお伝えします。

**1、教育活動全般を通して「意思決定」を目指します。(支えます)**

本校では、様々な教科や日常生活の学びから調和的な発達を支え、見学や体験を通して「ここで働きたい」と思えるような意思決定支援をご家庭と協力して行っていきます。

**2、18歳での「生き方・働き方」の意思決定を支え、ライフステージに応じて変化する可能性についても考えます。**

障害者雇用・障害福祉サービス(就労継続支援 B 型など)といった障害のある人の働き方に関わらず、私たちの世の中の働き方は多様になってきました。

一生同じ仕事というわけではなく、長い人生でライフステージに応じた働く場や働き方についても考えていきます。

私たち大人はこれまで働いてきました。何年、何十年と働いてきた方もいます。

ただ、「働く目的を達成したのでおしまい!」と言える方はどれくらいいるのでしょうか。

働き続けている私たちはきっと、辛いことも有りつつも、何のために働くかの答えを1つ、2つ、3つと増やしながら、自分を成長させ続けているのだと思います。

大切なお子さんを近い将来、そんな私たちの新たな素敵な仲間にするために今年度もよろしくお願いたします。

## 「高等部の進路」をホームページに掲載しました。

高等部のご家庭へは「高等部の進路」を配布いたしました。

巻末に福祉事業所一覧も掲載しております。

小学部中学部の方は、本校ホームページにアップしましたのでご覧いただきご活用ください。

## 令和4年度保護者対象進路学習会のご案内

在学中から卒業後の社会参加やそのための福祉サービスの利用、就労定着等に向けて、保護者に対する情報提供の機会とすることを目的に今年度も実施いたします。

| 回 | 日         | 時               | 題（予定）                                     | 来校参加        | リモート参加    |
|---|-----------|-----------------|---|-------------|-----------|
| 1 | 6月14日(火)  | 10:30～<br>12:00 | 「知的障害のある子と大人の役割」<br>講師：本校進路担当             | 小中学部<br>保護者 | 全校<br>保護者 |
| 2 | 10月11日(火) | 10:30～<br>12:00 | 「重度知的障害の人のくらし<br>～先輩保護者に学ぶ～」<br>講師：卒業生保護者 | 高等部<br>保護者  | 全校<br>保護者 |
| 3 | 11月22日(火) | 10:30～<br>12:00 | 「青年期の福祉サービス利用」<br>講師：通所福祉サービス施設長          | 小中学部<br>保護者 | 全校<br>保護者 |
| 4 | 1月31日(火)  | 10:00～<br>12:00 | 「青年期のくらし<br>～知的障害のある人の年金～」<br>講師：社会保険労務士  | 高等部<br>保護者  | 全校<br>保護者 |

### 【参加にあたっての注意事項】

- ・今年度も引き続き新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの学習会となります。  
来校人数はその時の状況によって制限させていただく場合がございます。
- ・オンライン（Microsoft Teams）での参加であれば、すべての回にご参加できるよう準備をしております。
- ・参加希望の方は別紙の参加申し込み書にて、期日までにお申し込みください。
- ・全4回の参加希望をこの春の段階で集めさせていただきます。期日を過ぎた申し込みには申し訳ありませんが、対応できないことがあります。
- ・まずは、この全4回の申し込みを集約後に参加決定の方へは書面にてお知らせいたします。また、各回のオンライン参加の方へは参加方法を事前に書面にてお知らせいたします。

## 令和4年度 当面の進路（保護者対象）に関する予定

| 日時                | 名称                         | 内容  |
|-------------------|----------------------------|---|
| 5/11（水）<br>10:00～ | 高2保護者対象進路説明会               | 高等部2年生の保護者対象に<br>現場実習やその後の進路決定までの<br>スケジュールや手続きについての説明                      |
| 夏季休業中             | 夏季進路オンライン見学会<br>福祉事業所等動画視聴 | 今年度から、多くの方が参加できるように<br>オンライン見学または動画視聴の形式で<br>福祉事業所や障害者雇用企業等の情報提<br>供をいたします。 |

※例年1学期に実施しておりました地域別懇談会（立川市・東大和市・武蔵村山市・福生市）については自治体と相談の上、実施する場合にのみお知らせいたします。

※PTA 進路対策部の学習会等についても、今後相談の上実施に関して決定の後にお知らせいたします。

高等部の保護者の皆様は、コロナ渦の中でのインターンシップや現場実習につきましてご不安もあろうかと思えます。個別にご相談いただきながら、慎重に行って参ります。小中学部の保護者の皆様も何か知りたいことや相談がございましたら、気兼ねなく進路へお尋ねください。  
今年度もどうぞよろしくお願いたします。

